



KES環境審査 無事終了しました

7月25日、本年度の環境審査無事終了しました。環境マニュアルの標記等で検討すべき点が指示されましたが、不適合や観察事項等はありませんでした。巡視中のインタビューでは、社長の環境活動での役職名「最高責任者」の名称が出てこない場面があり、次回までに、教育徹底することで、審査員の了承を得ました。全体としては、環境マネジメントとして、良好に機能していると評価され、特に作業者レベルまで、PDCAが発想の中にあり、活動に活かされているとのコメントがあり、環境記録も電子データ化されるなど、先進的な取り組みが審査員の評価を受けました。今後の課題としては、環境に取り組む姿勢や、社員意識に温度差があり、それをどのように解決するか、新たな局面を迎えていることに気付かされました。

環境審査	
計画	
環境影響項目	
法的及びその他の要求事項	
環境改善目標及び改善計画	
実行	
体制と責任	
教育と訓練	
情報の連絡	
文書	不適合・観察事項無し
文書の管理	
活動	
緊急事態への準備と対応	
点検	
確認	
遵守評価	
修正と予防	
記録	
自己評価	
最高責任者による評価	
環境審査	

部品用のプラスチックケースも分別しましょう

部品などが入ったプラスチック製の容器を良くみます。特に今まで規制していませんでした。それは、現状リサイクルができないことが要因でしたが、一般ゴミを少しでも減量するために、完全ではありませんが、分別されたものは、廃プラスチックとして処分しています。できる物から、分別してダンボールなどと一緒に廃棄お願いします。一般ゴミに混ざったものは回収しません。



今月の生物多様活動 ～ 排水処理施設について研修しました ～

7月水戸市環境保全会議の例会で、水戸市の下水処理の状況について研修をしました。水戸市内の下水の内、約12万人分を水戸市若宮にある下水処理施設で処理し、処理された水は桜川に放流しています。その他、青柳浄化センターでオキシゲーションディッチ法による処理で3千人分を処理し、那珂川に放流、内原でも同様の方法で約1万人分を処理し、潤沼前川に放流しています。その他11万人分を水戸市以外の施設で処理しています。問題は、残り約4万人分の下水が、何の処理もされず川などに流されています。これを食い止めない限り、千波湖や潤沼等に影響があることは必至のようです。



最高責任者(社長)のコメント ～ KES審査終了して ～



今月の環境用語



本年度の環境審査無事終了し、関係者の協力に感謝する。審査官より高い評価を得たが、美化活動など、全体で取組んでいる姿勢が好印象に結びついた。こうした活動は、地道に社員一人一人が行動して行くことこそ重要。今後とも分別や回収、節電など協力願う。

「不適合・観察事項」

KE S環境マネジメントシステムの審査では、審査中に問題点や法令に抵触する恐れがある場合不適合の指示を出して、改善を求められ、改善が適合と認められるまで、何度も繰り返し要求される。観察事項は、問題を含んでいるが、実際の活動の中で再評価されることを言います。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量の削減	23,269 kwh	18,293 kwh	達成	71,244 kwh	57,118 kwh	125%	↑
一般ゴミの削減	66 袋	64 袋	達成	263 袋	252 袋	104%	↑
エコキャップを回収	860 個	947 個	達成	3,396 個	3,621 個	107%	↑
美化活動の実行	—	—	達成	1 回	1 回	100%	↑
生物多様性保護支援	1 回	1 回	達成	3 回	4 回	133%	↑